



平成 23 年 4 月 13 日

各 位

会 社 名 株式会社 東京スタイル
代表者名 取締役社長 中 島 芳 樹
(コード：8112、東証第一部)
問合せ先 執行役員 経営統轄本部経営企画部長
門 田 潔
(TEL. 03-3262-8111)

営業外費用の計上及び繰延税金資産の取崩し等による業績予想の修正に関するお知らせ

平成 22 年 4 月 14 日に公表致しました平成 23 年 2 月期（平成 22 年 3 月 1 日～平成 23 年 2 月 28 日）の業績予想を下記のとおり修正しますのでお知らせ致します。

記

1. 当期の連結業績予想数値の修正(平成 22 年 3 月 1 日～平成 23 年 2 月 28 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	55,000	3,500	5,200	4,700	53.33
今 回 修 正 予 想 (B)	56,000	500	△1,400	△10,500	△119.17
増 減 額 (B-A)	1,000	△3,000	△6,600	△15,200	△172.47
増 減 率 (%)	1.8	△85.7	—	—	—
(ご参考)前期連結実績 (平成 22 年 2 月期)	52,196	422	4,281	740	8.40

2. 修正の理由

当連結会計年度の業績につきましては、売上高は新ブランドの投入等により概ね計画通りに推移致しましたものの、記録的な猛暑と暖冬の影響で値下げ販売比率が高まった為に売上総利益率が低下したうえ、下期にブランド開発、新規出店への投資や宣伝販促の強化などの諸施策を積極的に展開した結果として経費が増加した為、営業利益が当初予想を大幅に下回りました。

加えて、平成 16 年から平成 20 年にかけて取得した複合金融商品に組み込まれたデリバティブについて、急激な円高等により約 36 億円の評価損を計上した為、経常利益は大幅な損失となりました。

さらに、平成 21 年 2 月期に計上した繰延税金資産（リーマンショックによる株価の低迷に伴い発生した有価証券評価損及び投資有価証券評価損に対するもの）の回収可能性について慎重に検討した結果、また、本年 6 月の株式会社サンエー・インターナショナルとの経営統合に向けた資産内容の適正化の観点も勘案し、当連結会計年度において繰延税金資産約 80 億円を取り崩すこととした為、当期純利益についても大幅な損失となりました。

以 上